教員名	新井　由紀夫　(ARAI　Yukio)
所　属	人間文化研究科比較社会文化学専攻比較社会論講座
学　位	文学修士　(1985　東京大学)
職　名	助教授
URL　／　E-mail	http://www.li.ocha.ac.jp/hum/arai.htm　／　arai5177@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード

中世イギリス史　／　史料学　／　社会的結びつき　／　ジェントリ　／　贖宥状

◆主要業績　　総数　(　1　)件

・新井由紀夫『中世後期イングランドにおける宗教社会的ネットワークの研究』
（平成 15～17 年度科学研究費補助金　基盤　(C)　(2) 研究成果報告書)、2006 年 3 月、全 101 頁。

◆研究内容

贖宥状（いわゆる免罪符）とそれをもらったジェントリ階層の事情について、15 世紀イングランドを中心に検討しています。特に、国王ヘンリ４世およびヘンリ５世の宮廷官僚として活躍した、ジェントリのサー・ジョン・ペラムと、北部貴族のサー・ヘンリ・フィッツヒューが、1412 年、国王ヘンリ４世の病気が進行するなかで受け取ったそれぞれの贖宥状を比較しつつ、中央政界の動きと、贖宥状に見られる宗教社会的ネットワークを関連させつつ考察しました。その成果が、『中世後期イングランドにおける宗教社会的ネットワークの研究』(平成１５年度～平成１７年度科学研究費補助金（　基盤研究　(C)　(2)) 研究成果報告書) です。

◆教育内容

講義では、15 世紀のジェントリ家政会計簿を紹介しつつ、そこから何が読み取れるのかを議論しました。

ゼミでは、最近の雑誌英語論文を、一年に７～８本、担当者による発表形式で読んでいます。各自が分担して、要約・コメントし、それをうけて皆で議論するというやり方です。2006 年度の論文テーマは、「敵を知る：十字軍時代の西欧におけるイスラム理解」「クロムウェル再考：記録の沈黙を問い直す」「ローマン・ブリテンの女性：結婚・出産そして死」「西ドイツの戦後復興と消費の主役となった女性」「悪臭と香水：１８世紀における香りの利用」「アテナイのエイサンゲリア」「マムルーク：シリアとエジプトの軍事奴隷」「近世フランスのユグノー・アイデンティティと法」「近代フランスのフリーメイソン・ウーマン」「ジェンダーとテューダー王権：メアリ１世の意義」などです。テーマがあちこちに飛びますが、研究の新しい波にふれる充実感が味わえます。

◆共同研究例

歴史的多文化・多民族社会におけるリスクとコミュニケーションの研究　(平成 18 年度特別教育研究経費事業「コミュニケーションシステムの開発によるリスク社会への対応」プロジェクト)
中世ヨーロッパの史資料に関する研究（科研）

◆将来の研究計画・研究の展望

キャサリン・ラングレィというロンドン豪商出身でジェントリに嫁ぎ未亡人になった女性とラングレィ家に関する史料を集めて、ぼちぼち読み始めています。彼女の遺言書や彼女のもらった贖宥状、それにラングレィ家の会計記録などを読んでいます。これらをもとに、キャサリンの生涯と社会との関係を再構築してみることを計画しています。

◆受験生等へのメッセージ

なにごとにも好奇心を持ち、どんなことでもどん欲に楽しむという姿勢は、歴史学をやる上であんがい欠かせない要素だと思います。遊びや楽しみのなかから学問のヒントを得ることもあります。学生さん達との学科旅行での宴席で、比較社会史という授業のテーマ「ホモセクシュアルの比較社会史」が決まったのですが、やってみると奥が深く、史学の先生達との共同研究テーマにまで発展してしまったほどです。
歴史学で扱えないようなテーマはない、何でもありだと最近よく思います。歴史学をやる上でこうしなければだめだということもありません。われこそは、という皆さん、是非、お茶大比較歴史学コースにいらして下さい。